

～ 号外 PTA連合会 研究発表 ～

2019年12月

今年度、南稜高校は発表校ということで、PTA連合会南支部研修会（福島）と、専門委員会研修会（浦和）で研究発表をさせて頂きました。今回は号外として研究発表の様子などをご報告させて頂こうと思います。

2019年10月20日 福島県にて

《令和元年度 埼玉県高等学校PTA連合会南支部役員等研修会》

～ 口演会 ～

研究発表前の口演会は、富岡町在住 富岡町3・11を語る会代表 青木淑子さんによる『復興を支える人のつながり』という口演を頂きました。

青木淑さんは福島県内高校国語科教員、福島県立富岡高校校長などを経て2015年4月 富岡町3・11を語る会代表に就任。富岡高校時代、町との深い連携、町民との関わりがあり、震災後の災害者支援ネットワークとしている中で、人は人によってしか救われないと実感。どのような状況下でも、いかなる年齢でも今生きていることに意味があり必ず明日に繋がると思えるようなコミュニティを創って行きたいと考えて語り伝える活動をされているそうです。



～ 研究発表 ～

南支部の中から4校が発表校となり研究発表をさせて頂きました。

- ☆ 進路指導 『子どもへの諦めないサポート』
発表校 : さいたま市立浦和高等学校
- ☆ 生徒指導 『チーム川北で、目指すは最高レベルの私。 「～学校の応援団として～」』
発表校 : 県立川口北高等学校
- ☆ 家庭教育 『「卒業生に学ぶ会」を通して』
発表校 : 県立大宮高等学校
- ☆ 高校教育とPTA 『コミュニケーション力で生徒の成長を応援』
発表校 : 県立南稜高等学校

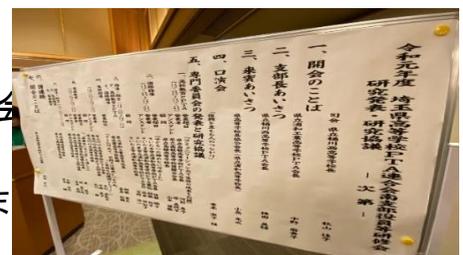


～発表を終えて～

この度、「高校教育とPTA」というテーマのもと、専門委員会研修会で発表の場を頂きました。準備を進めて行くうちに南稜高校が更に好きになりました。誇りに思うようになりました。

「我が子を行かせて良かった」とあらためて思いました。ありがとうございました。

PTA会長 河村 恵子



2019年11月15日（金）

市民会館うらわにて

《 令和元年度 高校教育とPTA専門委員会研修会 》

この専門委員会研修会は、11月15日・11月26日 二日間の午前・午後の4部で行われました。
埼玉県高等学校PTA連合会 全支部の発表校が各専門委員会に分かれ実践発表しました。
南稜高校は、11月15日 午後の部でした。

～ 研究発表 ～

☆東部支部 県立蓮田松韻高等学校
『高校教育とPTA ～生徒を支えるPTA活動～』

☆西部支部 県立所沢商業高等学校
『PTA活動における保護者と学校の負担軽減』

☆南支部 県立南稜高等学校
『高校教育とPTA ～コミュニケーション力で生徒の成長を応援～』

☆北部支部 県立秩父農工科学高等学校
『高校教育とPTA ～絆～』



発表内容は、前回の福島と同じものですが
前回よりもリラックスして発表出来たのではないかと思います。
校長先生が、河村会長を、「ケイコ・カワムラ」
原後援会会長は、「クリック・原」(PC操作担当)と紹介し一笑し
南稜らしいスタートでした。

では次に、南稜高校の発表内容をご紹介します。



高校教育とPTA

『 コミュニケーション力で生徒の成長を応援 』

埼玉県立南稜高等学校

南稜高校は、今年度創設40周年を迎える 普通科・外国語科の学校。

目指す学校像を 「明るく伸びやかな校風のもと主体的に学ぶとともに、豊かな心と国際感覚を育む
希望する進路を実現する高校」 とし、勉強と部活動の両方を頑張れる生徒の育成を目指した
学校づくりをしています。

部活動では、ボート部、バトントワリング部が全国大会出場。女子サッカー部、ソフトテニス部、
水泳部、美術部も目覚ましい。

PTA活動は、入学時に出身中学校地域を5地区12支部に分け
支部ごとに理事を選出。選出された理事は、本部
専門部(総務部・広報部・指導部・学年部)の希望に沿った
所属し、3年間活動を行います。

・ 年 次	昭和55年創立(今年で40年目)
	平成8年外国語科設置
・ 学 科	普通科(8学級) 外国語科(1学級)
・ 生徒数	1085名(男女比1:2)
・ 出身中学校	さいたま市(307名) 川口市(179名) 戸田市(161名) 蕨市(46名)
・ 通学方法	埼玉県北戸田徒歩15分 電車利用 48% 自転車・徒歩のみ 52%



本部では、年1回の総会、年4回の理事会の開催。

PTA連合会の会合（全国・関東・南支部など）へ参加。研修レポートを学校ホームページ内のPTAコーナーにて掲載し、連合会の活動・研修を広く紹介しています。

総務部は、年1回7月ころ 大学訪問見学の開催。学校と相談し、生徒の進路希望に沿った私立大2校へ訪問。令和元年度は、明治大学と東洋大学に訪問・見学を行いました。

広報部は、各学期ごとに1回、号外1回、合わせて年4回の広報誌の発行を行っています。カラー紙面でとても見やすく好評です。

指導部は、オリーブフェスティバルでのバザーを開催。4月から提供品の回収を広く促し、当日は大変好評。収益金全額を学校の教育活動に活用しています。またロードレース大会時の水分補給活動も行っています。生徒たちに「頑張って」と声をかけ、ゴールした生徒に「お疲れ様」スポーツドリンクを手渡しています。

学年部は、各クラス懇談会時の進行を担当の先生と連携取って行います。また10月にPTA参加「ソフトバレーボール大会」の開催・運営を行います。各学年ごと総当たり戦です。学生以来、ボールに触ったことがないというメンバーと声を掛け合い、ボールを繋いでいきます。終了後は、食堂にて交流会（お疲れ様会）で軽食を取りながらPTAの友好を深めます。今年度は、10月の台風19号に伴う電車の運休、またコース不良で、「ソフトバレーボール大会」も「ロードレース大会」も残念ながら、中止となってしまいました。台風の被害が一日も早く復旧・復興することを願うばかりです。

我が南稜高校では、年2回の学校評議員会の開催後に

『ワールドカフェ』を開催。評議員メンバーのほかに本部役員も参加して、生徒会から上がってきたテーマをもとに討論を行います。学校・生徒・保護者・地域が一体となって、それぞれが意見を出し合う場です。5月に開催のテーマが

『南稜生のスマホ利用にルールは必要？～校内でのスマホ使用規定をうけて～』でした。今年度より、スマホ・携帯電話の使用が大幅に制限され、生徒たちからは「なぜ、厳しくなったのか使用制限の見直しをしてほしい」との意見が出ていました。生活の必需品となっている生徒の思い、高校時代にスマホのなかった親世代の不要論など、それぞれが意見を出し合い、思いのままがお互いに伝わりました。この『ワールドカフェ』の良い点は、「結論は出さない事」です。

お互いの思いのままを聞き、感じ、結論が出なくとも次の一歩へまた進むこととなります。

南稜PTAは、これからも学校・生徒・地域・保護者とコミュニケーションを図りながら、それぞれを尊重し大いに生徒の成長を見守っていききたいと思います。

～講評～埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課

主席社会教育主事 内河大和 様

南稜高校のキーワードは「コミュニケーション」。連合会の活動をHP内で掲載されていることで、広く活動内容を紹介出来る取り組みは素晴らしいと思います。また「ワールドカフェ」の取組みも素晴らしいと思います。違った人の意見聞く、立場の違った意見を聞くという取組は今後とても大切なことです。近年PTA活動に様々な意見が出ておりますが自分の学校として課題にどのように取り組んでいくか常に見直すことが大切だと思います。組織の再編・行事の縮小など。「子どものために」が第一です。どうぞ学校ならではのPTA活動をこれからも宜しくお願い致します。



学

と

]

]

か？

ハ

、

とも

！を